長野市自転車活用推進計画（案）の概要

資料１－２

現　状（問題点）

【長野市の立地特性】
- 市街地周辺は坂が多い。
- 冬は寒く道が凍る。雪も降る。

【自転車利用に関する事項】
- 市民の 7 割近くが自転車を所有し、その約半数は日常的に（週 2 日以上）利用している。
- 高校生の自転車利用が多い。
- 市民が自転車を利用する距離は 3km 未満が多い。
- 運動不足と感じる市民が多い。週 3 日以上運動する人は市民の約 3 割弱。
- 家庭 1 世帯当たりの温室効果ガス排出量のうち自動車は約 1/4 を占める。
- 自動車の分担率が高く、自転車の分担率は低い。
- 平日朝夕を中心に渋滞が発生している。
- 自転車を利用することのメリットが伝わっていない。
- 公共交通機関との連携が図られていない。
- どこが走りやすいのか分からない。
- 自転車を利用した観光はあまり行われていない。

【道路環境】
- 自転車通行空間として約 13km 整備済。
- 自転車が安心して走れる道が少ない（道幅が狭い、自動車・歩行者等の混在など）。
- 道路の整備が不十分で自転車走行の障害となる場合がある（凹凸、段差、電柱、看板、樹木のはみ出し、暗い、など）。
- 側溝・水路に蓋がない場所がある。
- 地下道、高架橋などに急坂がある。
- 千曲川サイクリングロードへの経路が分かりづらい。

【駐輪環境】
- 市営駐輪場は駅周辺などに 33 箇所、約 9,500 台分設置。
- 駐輪スペースが不足している（長野駅周辺）。
- 停めたい場所に駐輪スペースがない（長野駅～善光寺、バス停周辺、自転車専用道路周辺など）。
- 市営駐輪場で盗難やいたずらがある。
- 乱雑に置かれていて停められない。
- 屋根がなく雨に濡れる。
- 駐輪のマナーが守られていない。

【安全に関する事項】
- 事故件数は年間 200 件前後発生している。
- 交通事故件数全体は減少しているものの、自転車が関連する事故の割合が減少していない。
- ルールを知っているが守っていない（並走、無灯火、傘さし、逆走、一時不停止、携帯・スマホ、ヘッドホン、二人乗り、スピード出しすぎ、など）。
- 危険な自動車の運転がみられる（一時停止時に停止線で止まらない、右左折時にウィンカーを出さない、信号無視、など）。
- 市民全体の保険加入者は約 3 割しかいない。
- メンテナンスの仕方が分からない（パンク修理など）。
- どこで整備をしてもらえるかが分からない。

抽出した課題

- 電動アシスト自転車の普及促進
- 凍結防止対策、迅速な除雪
- 市ウェブサイト等への情報掲載
- 通勤等での自転車の利用の促進
- 優遇制度の検討
- 交通政策として改善を検討
- 自転車マップの作成と配布
- サイクリングコースの設定と周知
- 安全に通行できる道路への誘導
- 自転車通行空間の整備
- 駐輪場の設置
- 既設駐輪場の改修
- 防犯対策の実施
- 広報啓発の実施
- 街頭指導の実施
- 学校等での教育の促進

基本方針・施策 ／ 事業

1　自転車を活用したライフスタイルの定着

施策１　健康増進・環境負荷低減につながる自転車の価値をＰＲ
- 1　自転車の利用促進につながる広報啓発
- 2　健康増進・環境負荷低減につながる広報啓発
- 3 自転車の利用促進につながるマップの作成

施策２　自転車通勤等の促進
- 1　自転車通勤拡大のための広報啓発
- 2　エコ通勤運動の企業への推進
- 3　公共交通と組み合わせた通勤・通学の推進

2　自転車通行空間等の整備

施策３　通勤・通学路の重点的な整備
- 1　自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の計画的な整備
- 2　道路標識･道路標示の適切な設置･運用
- 3　通行空間の利用方法、マナーの周知

施策４　目的やニーズに応じた駐輪場の整備
- 1　バス停周辺に駐輪スペースを設置
- 2　市営駐輪場の適正な管理・運営
- 3　鉄道駅周辺駐輪場へのサイクルスタンド等の設置

3　安全に向けた啓発と賠償責任保険加入の促進

施策５　段階的な交通安全教育の推進
- 1　世代に応じた交通安全教育の充実
- 2　自転車交通安全に関する人材の育成

施策６　自転車の交通安全に関する広報啓発活動の推進
- 1　安全な自転車利用につながる広報活動
- 2　季別の交通安全運動等における街頭啓発活動の実施

施策７　点検整備・自転車保険の加入促進など安全通行の確保
- 1　自転車保険の加入促進
- 2　自転車の点検・整備の促進

施策８　災害時における自転車の活用推進
- 1 災害時における自転車活用に関する検討

4　自転車を活用した観光振興

施策９　自転車走行環境・サイクリストの受け入れ環境の整備
- 1　交通結節点等におけるサイクリストの受け入れサービスの充実
- 2　利用拠点における利便施設の整備

施策 10　サイクリングコースの提案等による、サイクルツーリズムの推進
- 1　千曲川サイクリングロードの環境整備
- 2　新たなサイクリングコースの設定と広報周知

指標

- 自転車を日常的に（週 2､3 日程度以上）利用する人が市民の半数以上
  現状値
  「ほぼ毎日」及び「週 2、3 日程度」の合計が 45.1％（「自転車の利用アンケート」）
- 自転車ネットワーク路線における優先整備路線の整備率が 100％（整備計画延長 26.4km）
  現状値
  整備率 35.1％（整備済延長 13.3km）
- 自転車が関係する事故件数が 15％減
  現状値
  235 件（R1）
- 自転車の総合的な使いやすさを「満足」と感じる人が市民の 3 割以上
  現状値
  「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が 9.4％（「自転車の利用アンケート」）